

# 2023年度環境経営レポート

(対象期間：2023年7月～2024年6月)

2024年09月25日 発行



ナベプロセス株式会社

<http://www.nabeprocess.co.jp/>



# 目次

- 表紙・・ 1 ページ
- 目次・・ 2 ページ
- 会社の概要・・ 3 ページ～5 ページ  
【①対象事業所②認証・登録範囲③事業所展開④組織図】
- 環境経営方針・・ 6 ページ
- 環境経営目標とその実績・・ 7 ページ～10 ページ
- 環境経営目標とその実績・・ 11 ページ～13 ページ
- 主要な環境経営活動の計画内容及び取り組結果の評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14 ページ
- 主要な環境経営活動の中長期目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15 ページ
- 環境関連法規制等への違反・訴訟の有無・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16 ページ
- 次年度の取り組みについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17 ページ～18 ページ
- その他環境経営活動への取り組みについて 2023年度の取り組み・・・・・・・・・・・・ 19 ページ
- 代表者による全体評価と見直しの結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20 ページ

# 会社概要

事業規模

社名	ナベプロセス(株)本社	設立	1979年
住所	香川県高松市木太町2477-1	資本金	8100万円
代表取締役社長	鍋坂信也	従業員数	284名(パート含む)

(2024年9月現在)

## ①対象事業所

社名	所在地	電話	対象/ 未対象
		fax	
ナベプロセス(株)本社・工場	香川県高松市木太町2477-1	087-833-7171	対象
		087-862-3331	
ナベプロセス(株)大阪支社・工場	大阪府大東市諸福4丁目5-5	072-889-6100	対象
		072-889-6030	
ナベプロセス(株)岡山営業所	岡山県岡山市南区藤田564-138	086-296-6969	対象
		086-296-7580	
ナベプロセス(株)サテライトヒル	香川県木田郡三木町2876-33	087-840-2121	対象
		087-840-2122	
ナベプロセス(株)東京支社・工場	千葉県柏市柏インター南8-2	04-7131-0200	対象
		04-7131-0220	
ナベプロセス(株)十川工場	香川県高松市十川東町468-1	087-814-7878	対象
		087-814-7889	
ナベプロセス(株)東京営業所	東京都千代田区神田須田町2-15 KSYビル5F	03-5298-2750	対象
		03-5298-2752	
ナベプロセス(株)静岡営業所	静岡県富士市平垣483第二美鳳堂ビル1F	0545-66-3301	対象
		0545-66-3307	

※十川工場は本社が管理。静岡営業所は大阪支社が管理【常駐者無し】。東京営業所は東京支社が管理【常駐者無し】

- ②認証／登録範囲：グラビアシリンダー及びフレキソ版の製造、販売に係る業務。  
 フレキソ印刷製品の製造・販売に係る業務。  
 包装・詰め替え・検品などのパッケージング業務

# 拠点展開

## ③事業所展開

①



高松本社

②



③



④



⑤

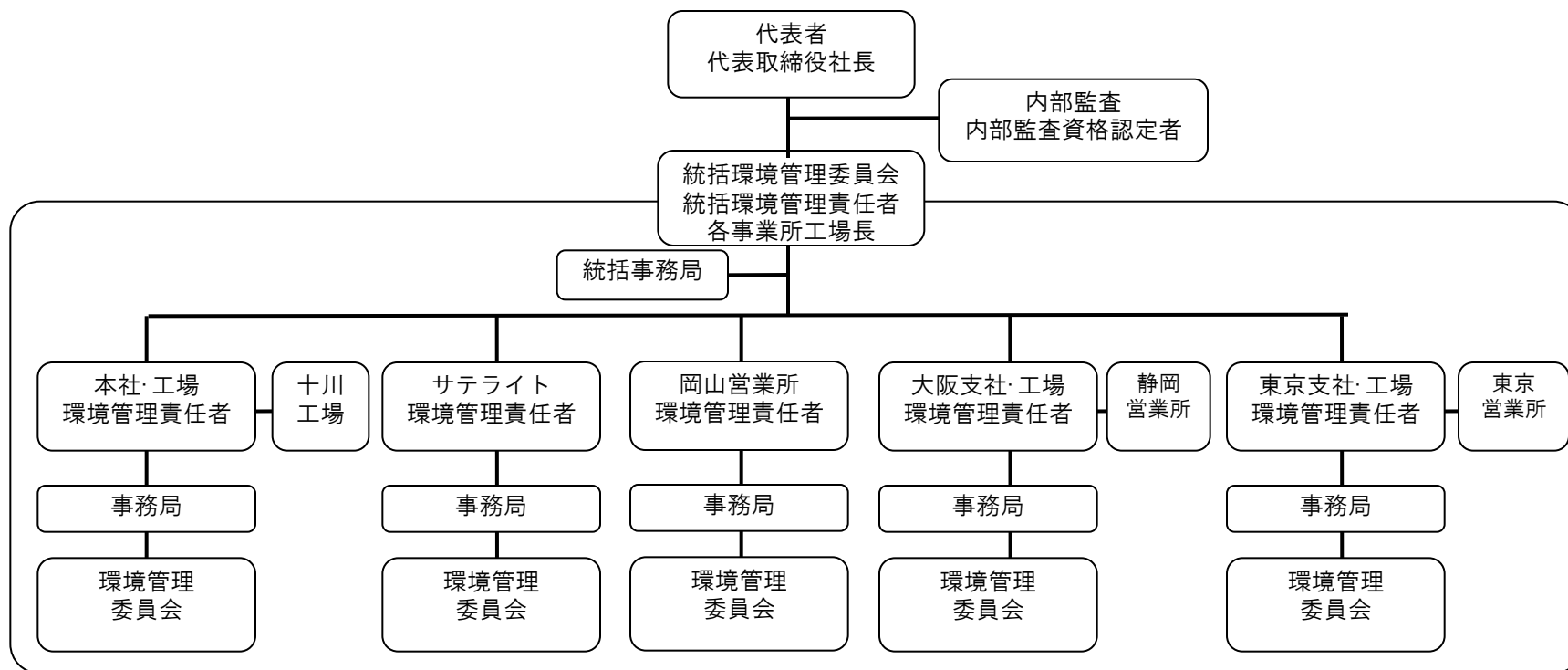


⑥



# 環境経営システム 組織図

## ④組織図



※十川工場は本社が管理。静岡営業所は大阪支社が管理【常駐者無し】。東京営業所は東京支社が管理【常駐者無し】

### 「役割・責任と権限」

- 代表者:社長は、当社の環境経営システムの最高責任者であり、環境経営マニュアル「第一章社長(代表者)の役割・責任・権限」に基づきEA21運営管理を行う。
- 内部監査:内部監査は、当社の環境経営システムがエコアクション21環境経営ガイドラインの要求事項を満たしているかを監査し、且つ環境経営活動が適切に運営管理されているかを監査する  
また、その結果をマネージメントレビューで報告する。
- 統括環境管理委員会:統括環境管理委員会は全社の活動方針及び環境目標・環境活動計画、実施体制等を討議し明確化する。
- 統括環境管理責任者:統括環境管理責任者は、全事業所の環境経営システムの運用状況を把握し、代表者への報告及び全事業所の環境管理責任者への運営指示を行う。
- 工場長:工場長は、全事業所の生産・環境設備の改廃、運用の見直しにより、工場全体の生産及び環境設備の整備を行い、環境経営システム運用の推進を行う。
- 環境管理責任者:環境管理責任者は、各事業所の環境経営システムの運用状況を把握し、統括環境管理責任者への報告及び各事業所の環境管理委員への運営指示を行う。
- 統括事務局:統括事務局は、全社統一用の環境関連文書及び記録の作成・審査・承認・改廃の管理を行う。
- 事務局:事務局は、各事業所の環境関連文書及び記録の作成・審査・承認・改廃の管理を行う。またその結果を統括事務局へ報告する。
- 環境管理委員会:環境管理委員会は、各事業所の環境目標及び環境活動計画に基づく活動が適切に行われているかを管理する。

# 環境経営方針

Challenge for Sustainability”持続可能な発展に挑戦”

## 1. 基本理念

ナベプロセス株式会社は、グラビア製版・フレキソ印刷・フレキソ製版の事業活動を通じて、環境にやさしい製造工程を目指し、常に目標を持って日々の業務に取り組みます。

## 2. 基本方針

(1) ナベプロセス株式会社の事業活動全般における環境負荷を削減するために次の活動に取り組みます。

- ① 省エネルギー【二酸化炭素排出量の削減】
- ② 廃棄物の分別の徹底と削減
- ③ 紙資源の節約
- ④ 水資源の節約
- ⑤ 化学物質の管理の徹底と使用量削減
- ⑥ 自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善
- ⑦ 不適合品発生率の低減

(2) エコアクション21環境経営システムを構築・運用し、環境汚染の防止に努め、継続的な改善を図ります。

(3) 環境関連法規制等を遵守します。

(4) 具体的な環境目標、及び行動計画を策定します。

(5) この環境方針は社会に公開し、全社員に周知徹底します。

制定日：2008年12月1日

改定日：2021年4月30日

ナベプロセス株式会社

代表取締役社長



6

# 環境経営目標とその実績

○単年度【2023年度：2023/7/1～2024/6/30】及び中長期

## 省エネルギー

【二酸化炭素排出量の削減】

### 取り組み

- 不要な照明はこまめに切る。
- 照明機器の間引き。
- エアコンの温度設定（夏季28℃/冬季20℃）を守る。
- クールビズの実施。
- アイドリングSTOP活動。
- エコドライブ・安全運転講習の受講。

### 課題及び評価

節電やエアコン温度設定などの環境活動は実施されているものの、電力使用量・ガス使用量ともに基準年度と比較して増加しており、効果が出ていない。今後は、より効果的な対策を講じ、PDCAサイクルを回しながら、着実に目標達成を目指していく必要がある。

				全社		
		年度	目標	実績	目標達成率	評価
エネルギー 使用量 (MJ/100本)	目標	基準年	—	44,568	—	—
	基準年-8%	2021年度	41,002	50,308	77.3%	△
	基準年-9%	2022年度	40,557	51,495	73.0%	△
	基準年-10%	2023年度	40,111	49,590	76.4%	△

△：未達成 ○：達成

※省エネルギーは、電力使用量・燃料使用量（自動車燃料・ガス使用量・LPG使用量）が含まれています。

				全社		
		年度	目標	実績	目標達成率	評価
CO2合計 (Kg-CO <sub>2</sub> /100本)	目標	基準年	—	2,096	—	—
	基準年-8%	2021年度	1,928	2,600	65.1%	△
	基準年-9%	2022年度	1,907	2,463	70.8%	△
	基準年-10%	2023年度	1,886	2,313	77.3%	△

※二酸化炭素排出係数 【関西電力：0.299kg-CO<sub>2</sub>/KWh】 【中国電力：0.462kg-CO<sub>2</sub>/KWh】

※二酸化炭素排出係数 【四国電力：0.451kg-CO<sub>2</sub>/KWh】 【東京電力：0.468kg-CO<sub>2</sub>/KWh】

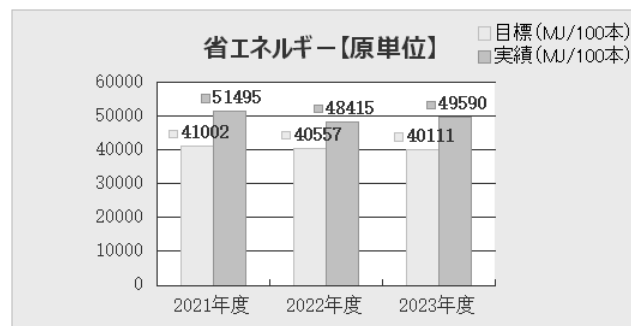
Co2排出量(kg-Co2)	全社 総排出量
2018年度	5,206,602
2019年度	4,706,217
2020年度	4,602,860
2021年度	5,590,201
2022年度	5,214,548
2023年度	4,579,796

省エネルギー	全社	原単位
基準生産量 (/100本)	1812	—
基準MJ(MJ/100本)	—	44,568
2023年度生産量 (/100本)	1980	—
2023年度MJ(MJ/100本)	—	49,590

\*基準生産量とは、2011年度～2013年度の平均生産量

\*基準MJとは、2011年度～2013年度の平均 MJ量

※基準生産量(グラビアシリンダーロール生産本数+フレキソ事業部印刷m数をグラビアシリンダーロール生産本数換算した量+ハイパープリント印刷m数をグラビアシリンダーロール生産本数換算した量)以降、基準生産量と表記する。



# 環境経営目標とその実績

○単年度【2023年度:2023/7/1~2024/6/30】及び中長期

## 廃棄物の分別の徹底と削減

### 取り組み

- 分別ごとの計量を実施する。
- 分別推進で廃棄物の資源化（有価物化）を促進する。

		全社				
		年度	目標	実績	目標達成率	評価
廃棄物処分量 (kg/100本)	目標	基準年	—	10.7	—	—
	基準年-8%	2021年度	9.8	7.3	125.5%	○
	基準年-9%	2022年度	9.7	6.6	131.9%	○
	基準年-10%	2023年度	9.6	6.7	130.2%	○

### 課題及び評価

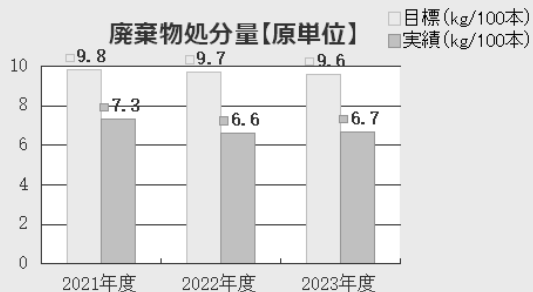
△：未達成 ○：達成

廃棄物処分量の削減目標を大きく達成しており、取り組みは非常に効果的です。廃棄物削減は継続的な取り組みが重要です。現状に満足せず、さらなる改善 efforts を継続していくことが重要です。

廃棄物処分量	全社	原単位
基準年度生産量 (/100本換算)	1812	—
基準廃棄物処分量(kg/100本)	—	10.7
2023年度生産量 (/100本換算)	1980	—
2023年度廃棄物処分量(kg/100本)	—	6.7

\*基準生産量とは、2011年度～2013年度の平均生産量

\*基準廃棄物処分量とは、2011年度～2013年度の平均廃棄物処分量



## 紙資源の節約

### 取り組み

- ペーパーレス会議の推進。
- 紙出力⇒データ化の推進。
- コピー用紙の両面印刷の推進。

		全社				
		年度	目標	実績	目標達成率	評価
紙使用量 (kg/100本)	目標	基準年	—	20.0	—	—
	基準年-8%	2021年度	18.4	13.2	128.3%	○
	基準年-9%	2022年度	18.2	17.5	103.8%	○
	基準年-10%	2023年度	18.0	12.7	129.4%	○

### 課題及び評価

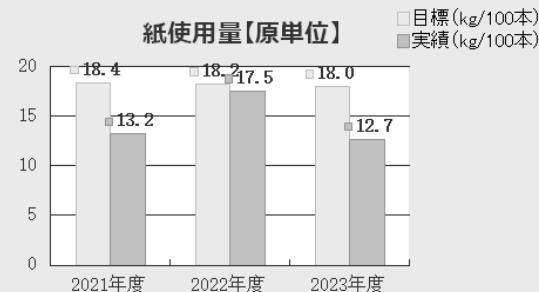
△：未達成 ○：達成

紙使用量削減において、一定の成果を上げているものの、目標達成率にばらつきがあり、更なる改善が必要です。2022年度の要因分析、取り組みの強化、目標値の見直しなどを通して、より効果的な紙使用量削減を目指していきたい。

紙使用量	全社	原単位
基準年度生産量 (/100本換算)	1812	—
基準紙使用量(kg/100本)	—	20.0
2023年度生産量 (/100本換算)	1980	—
2023年度紙使用量(kg/100本)	—	12.7

\*基準生産量とは、2011年度～2013年度の平均生産量

\*基準紙使用量とは、2011年度～2013年度の平均紙使用量



# 環境経営目標とその実績

○単年度【2023年度:2023/7/1～2024/6/30】及び中長期

## 水資源の節減

### 取り組み

- 節水の啓発活動の継続活動。
- 漏水の定期検査パトロールの実施。
- 減圧調整の実施

		全社				
		年度	目標	実績	目標達成率	評価
水使用量	目標	基準年	—	16.8	—	—
( $m^3/100$ 本)	基準年-8%	2021年度	15.5	15.6	99.3%	△
	基準年-9%	2022年度	15.3	15.9	96.1%	△
	基準年-10%	2023年度	15.1	16.5	90.7%	△

### 課題及び評価

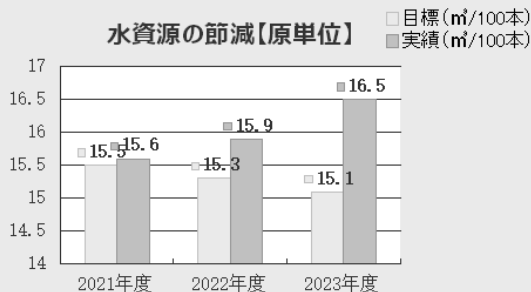
△：未達成 ○：達成

目標達成状況：残念ながら、水使用量の削減目標は達成できていません。達成率も年々低下しており、早急な対策が必要です。現状を踏まえ、目標値が適切かどうか見直すことも必要です。必要に応じて、目標値を下方修正することも検討する必要があります。

水使用量	全社	原単位
基準生産量 (/100本換算)	1812	—
基準水使用量(kg/100本)	—	16.8
2023年度生産量 (/100本換算)	1980	—
2023年度水使用量(kg/100本)	—	16.5

\*基準生産量とは、2011年度～2013年度の平均生産量  
\*基準水使用量とは、2011年度～2013年度の平均水使用量

水資源の節減【原単位】



## 化学物質の管理の徹底と使用量削減

### 取り組み

- 溶剤に於けるトルエン含有量の見直しを行う。
- 使用量削減の工夫を行う。

		全社				
		年度	目標	実績	目標達成率	評価
化学物質使用量	目標	基準年	—	5.1	—	—
トルエン	基準年-8%	2021年度	4.69	3.8	118.9%	○
( $kg/100$ 本)	基準年-9%	2022年度	4.64	3.6	122.4%	○
	基準年-10%	2023年度	4.59	3.8	117.2%	○

### 課題及び評価

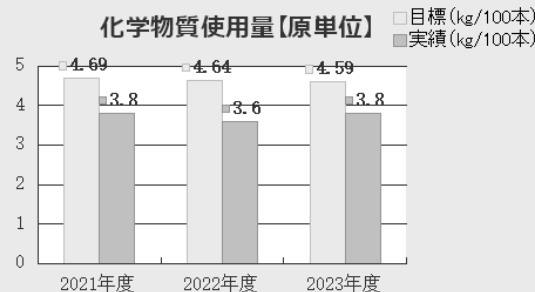
△：未達成 ○：達成

化学物質使用量の削減目標を達成しており、取り組みは効果的です。化学物質使用量の削減においては、素晴らしい成果を上げています。この成果を維持し、さらなる改善を図るためには、現状に満足せず、継続的な努力が必要です。

化学物質使用量	全社	原単位
基準生産量 (/100本換算)	1812	—
基準化学物質使用量(kg/100本)	—	5.1
2022年度生産量 (/100本換算)	1980	—
2022年度化学物質使用量(kg/100本)	—	3.8

\*基準生産量とは、2011年度～2013年度の平均生産量  
\*基準化学物質使用量とは、2011年度～2013年度の平均化学物質使用量

化学物質使用量【原単位】



# 環境経営目標とその実績

○単年度【2023年度:2023/7/1～2024/6/30】及び中長期

## グリーン購入の推進

### 取り組み

- 資材購入リストよりグリーン購入への切り替えを行う。
- 新規購入時、グリーン購入対象品を検討する。

	年度	会社			評価	
		目標	実績	目標達成率		
グリーン購入	基準年	—	209	—	—	
(品目)	基準年+8%	2021年度	225	318	141.3%	○
	基準年+9%	2022年度	228	327	143.4%	○
	基準年+10%	2023年度	230	323	140.4%	○

### 課題及び評価

△：未達成 ○：達成

グリーン購入においては、素晴らしい成果を上げています。この成果を維持し、さらなる改善を図るためには、現状に満足せず、継続的な努力が必要です。

## 不適合品発生率の低減

### 取り組み

- 品質管理の取り組みにより不適合品発生を低減させる。

	年度	会社			評価	
		目標	実績	目標達成率		
不適合品発生率	基準年	—	—	—	—	
(%)	0.2%以内	2021年度	0.2%以内	0.21%	95.0%	△
	0.2%以内	2022年度	0.2%以内	0.20%	100.0%	○
	0.2%以内	2023年度	0.2%以内	0.16%	120.0%	○

### 課題及び評価

△：未達成 ○：達成

品質管理の取り組みなど、具体的な取り組みが実施されており、評価できます。不適合発生品削減は継続的な取り組みが重要です。現状に満足せず、さらなる改善 efforts を継続していくことが重要です。

## 環境目標と実績について

○生産量の増減と環境活動の結果には相関関係があるため、生産量に対する単位“原単位”を集計し、目標設定及び達成度を環境活動の評価とする。

※①全社集計の実績とする。各事業所の実績は次頁。②生産量(/100本)に岡山営業所※1は含めず、環境負荷のみを含めて全社原単位を算出する。

※1：2015年度まで(販売額÷300万)を原単位とし加算。

# 環境経営目標とその実績…各事業所

○単年度【2023年度:2023/7/1~2024/6/30】

## 本社工場

△：未達成 ○：達成

		年度	本社			評価
			目標	実績	目標達成率	
電力使用量	目標	基準年	—	5,788	—	—
(kwh/100本)	基準年-0%	2023年度	5,788	6,085	94.9%	△
ガス使用量	目標	基準年	—	7.39	—	—
(m <sup>3</sup> /100本)	基準年-2%	2023年度	7.24	4.86	132.9%	○
燃費の向上	目標	基準年	—	11.62	—	—
(km/L)	基準年+0%	2023年度	11.62	11.68	100.5%	○
産業廃棄物処分量	目標	基準年	—	23.9	—	—
(kg/100本)	基準年-2%	2023年度	23.42	14.90	136.4%	○
一般廃棄物処分量	目標	基準年	—	8.14	—	—
(kg/100本)	基準年-1%	2023年度	8.06	7.70	104.5%	○
紙使用量	目標	基準年	—	32.88	—	—
(kg/100本)	基準年-0%	2023年度	32.88	33.71	97.5%	△
水使用量	目標	基準年	—	23.97	—	—
(m <sup>3</sup> /100本)	基準年-0%	2023年度	23.97	24.69	97.0%	△
化学物質使用量	目標	基準年	—	8.62	—	—
(kg/100本)	基準年-0%	2023年度	8.62	9.09	94.5%	△
グリーン購入	目標	基準年	—	66	—	—
(品目)	基準年+1品目	2023年度	67	67	100.0%	○
不適合品発生率	目標	基準年	—	—	—	—
(%)	0.2%以内	2023年度	0.2%以内	0.17%	114.2%	○

## 大阪支社

△：未達成 ○：達成

		年度	大阪			評価
			目標	実績	目標達成率	
電力使用量	目標	基準年	—	59,723	—	—
(kwh/100本)	基準年-0%	2023年度	59,723	60,382	98.9%	△
ガス使用量	目標	基準年	—	2,880	—	—
(m <sup>3</sup> /100本)	基準年-0%	2023年度	2,880	3,305	85.2%	△
燃費の向上	目標	基準年	—	10.11	—	—
(km/L)	基準年+0%	2023年度	10.11	9.7	95.9%	△
産業廃棄物処分量	目標	基準年	—	675.8	—	—
(kg/100本)	基準年-0%	2023年度	675.8	835.8	76.3%	△
一般廃棄物処分量	目標	基準年	—	10.22	—	—
(kg/100本)	基準年-0%	2023年度	10.22	9.70	105.1%	○
紙使用量	目標	基準年	—	186.74	—	—
(kg/100本)	基準年-0%	2023年度	186.74	170.40	108.7%	○
水使用量	目標	基準年	—	245.17	—	—
(m <sup>3</sup> /100本)	基準年-0%	2023年度	245.18	248.09	98.8%	△
化学物質使用量	目標	基準年	—	55.56	—	—
(kg/100本)	基準年-0%	2023年度	55.56	54.37	102.1%	○
グリーン購入	目標	基準年	—	83	—	—
(品目)	基準年+1品目	2023年度	83	84	101.2%	○
不適合品発生率	目標	基準年	—	—	—	—
(%)	0.2%以内	2023年度	0.2%以内	0.13%	135.6%	○

# 環境経営目標とその実績…各事業所

○単年度【2023年度:2023/7/1~2024/6/30】

## 岡山営業所

△：未達成 ○：達成

		岡山				
		年度	目標	実績	目標達成率	評価
電力使用量	目標	基準年	—	285.3	—	—
(kwh/300万)	基準年-11%	2022年度	253.9	219.3	113.6%	○
燃費の向上	目標	基準年	—	12.18	—	—
(km/L)	2020年実績-0%	2023年度	12.18	12.35	101.4%	○
一般廃棄物処分量	目標	基準年	—	3.31	—	—
(kg/300万)	基準年-10%	2023年度	2.98	1.49	150.0%	○
紙使用量	目標	基準年	—	6.20	—	—
(kg/300万)	基準年-9%	2023年度	5.64	3.36	140.4%	○
水使用量	目標	基準年	—	0.75	—	—
(m <sup>3</sup> /300万)	基準年-9%	2023年度	0.69	0.53	122.2%	○
グリーン購入	目標	基準年	—	26	—	—
(品目)	基準年+19品目	2023年度	45	54	120.0%	○

## 十川工場

△：未達成 ○：達成

		十川				
		年度	目標	実績	目標達成率	評価
電力使用量	目標	基準年	—	176	—	—
(kwh/100ケース)	基準年-5%	2023年度	167	46.3	172.2%	○
水使用量	目標	基準年	—	0.99	—	—
(m <sup>3</sup> /100ケース)	基準年-5%	2023年度	0.94	0.14	185.4%	○

## サテライトヒル

△：未達成 ○：達成

		サテライトヒル				
		年度	目標	実績	目標達成率	評価
電力使用量	目標	基準年	—	38,701	—	—
(kwh/100本)	基準年-1%	2023年度	38,314	40,030	95.5%	△
ガス使用量	目標	基準年	—	1,157	—	—
(m <sup>3</sup> /100本)	基準年-0%	2023年度	1,157	1,326	85.3%	○
産業廃棄物処分量	目標	基準年	—	99.27	—	—
(kg/100本)	基準年-0%	2023年度	99.27	107.54	91.7%	△
一般廃棄物処分量	目標	基準年	—	31.26	—	—
(kg/100本)	基準年-0%	2023年度	31.26	35.46	86.6%	△
紙使用量	目標	基準年	—	13.21	—	—
(kg/100本)	基準年-0%	2023年度	13.21	13.06	101.1%	○
水使用量	目標	基準年	—	96.63	—	—
(m <sup>3</sup> /100本)	基準年-0%	2022年度	96.63	115.29	80.7%	△
化学物質使用量	目標	基準年	—	46.85	—	—
(kg/100本)	基準年-0%	2023年度	46.85	46.77	100.2%	○
グリーン購入	目標	基準年	—	31	—	—
(品目)	基準年+4品目	2023年度	35	35	100.0%	○
不適合品発生率	目標	基準年	—	—	—	—
(%)	0.2%以内	2023年度	0.2%以内	0.17%	114.2%	○

# 環境経営目標とその実績…各事業所

○単年度【2023年度:2023/7/1~2024/6/30】

## 東京支社

△：未達成 ○：達成

		東京				
		年度	目標	実績	目標達成率	評価
電力使用量	目標	基準年	—	5,743	—	—
(kwh/100本)	基準年-2%	2023年度	5,628	4,849	113.4%	○
ガス使用量	目標	基準年	—	3.59	—	—
(m <sup>3</sup> /100本)	基準年-3%	2023年度	3.48	1.09	168.8%	○
燃費の向上	目標	基準年	—	10.35	—	—
(km/L)	基準年+1%	2023年度	10.67	10.95	102.6%	○
産業廃棄物処分量	目標	基準年	—	45.7	—	—
(kg/100本)	基準年-10%	2023年度	41.1	26.7	134.2%	○
一般廃棄物処分量	目標	基準年	—	39.4	—	—
(kg/100本)	基準年-2%	2023年度	38.61	22.21	142.3%	○
紙使用量	目標	基準年	—	29.7	—	—
(kg/100本)	基準年-2%	2023年度	29.1	23.3	119.4%	○
水使用量	目標	基準年	—	27.7	—	—
(m <sup>3</sup> /100本)	基準年-0%	2023年度	27.7	22.8	117.9%	○
化学物質使用量	目標	基準年	—	7.60	—	—
(kg/100本)	基準年-1%	2023年度	7.52	5.87	121.8%	○
グリーン購入	目標	基準年	—	85	—	—
(品目)	基準年+1品目	2023年度	86	87	101.2%	○
不適合品発生率	目標	基準年	—	—	—	—
(%)	0.2%以内	2023年度	0.2%以内	0.19%	106.2%	○

◇本社工場・大阪支社・サテライトヒル工場・東京支社  
基準年 2022年度(一部2021年度)

岡山営業所 基準年 2011年度~2013年度平均

十川工場 基準年 2017年度

※各事業所にて基準年を設定し、進捗管理を実施。

◇岡山営業所

産業廃棄物…排出が少ない為、目標設定無し。

化学物質…取り扱いがない為、目標設定無し。

不適合品発生…本社工場に含めて進捗管理を実施。

◇十川工場

一般廃棄物…排出が少ない為、目標設定無し。

産業廃棄物…お客様支給商品の梱包資材(廃プラ)有価廃プラ分の為、廃棄量集計のみ実施。

紙使用量…使用量が少ない為、本社工場の使用量に含めて進捗管理を実施。(FAX、資料コピー用紙のみ)

化学物質…取り扱いがない為、目標設定無し。

# 主要な環境経営活動の計画内容及び取り組み結果の評価 ○2023年度

	主な環境活動	2023年度			全社	
		評価	年度	目標	実績	目標達成率
エネルギー使用量	○不要な照明はこまめに切る。	○	基準年	—	44,568	—
(MJ)	○照明機器の間引き。	△	2021年度	41,002	50,308	77.3%
	○エアコンの温度設定（夏季28℃/冬季20℃）を守る。	○	2022年度	40,557	51,495	73.0%
	○クールビズの実施。	○	2023年度	40,111	49,590	76.4%
	○アイドリングSTOP活動。	○				
	○エコドライブ・安全運転講習の受講。	△				
水使用量	○節水の啓発活動の継続活動。	○	基準年	—	16.8	—
(m <sup>3</sup> )	○漏水の定期検査パトロールの実施。	△	2021年度	15.5	15.6	99.3%
	○減圧調整の実施	△	2022年度	15.3	15.9	96.1%
			2023年度	15.1	16.5	90.7%
廃棄物処分量	○分別ごとの計量を実施する。	○	基準年	—	10.7	—
(t)	○分別推進で廃棄物の資源化（有価物化）を促進する。	○	2021年度	9.8	7.3	125.5%
	○版カバーの再利用の促進し廃棄物の削減に取り組む。	○	2022年度	9.7	6.6	131.9%
			2023年度	9.6	6.7	130.2%
化学物質使用量	○溶剤に於けるトルエン含有量の見直しを行う。	○	基準年	—	5.1	—
トルエン(t)	○溶剤使用量削減の工夫を行う。	○	2021年度	4.69	3.8	118.9%
			2022年度	4.64	3.6	122.4%
			2023年度	4.59	3.8	117.2%
紙使用量	○ペーパーレス会議の推進。	○	基準年	—	20.0	—
(t)	○紙出カ⇒データ化の推進。	○	2021年度	18.4	13.2	128.3%
	○コピー用紙の両面印刷の推進。	○	2022年度	18.2	17.5	103.8%
			2023年度	18.0	12.7	129.4%
グリーン購入	○資材購入リストよりグリーン購入への切り替えを行う。	○	基準年	—	209	—
(品目)	○新規購入時、グリーン購入対象品を検討する。	○	2021年度	225	318	141.3%
			2022年度	228	327	143.4%
			2023年度	230	323	140.4%
不適合品発生率	○品質管理の取り組みにより不適合品発生を低減させる。	○	基準年	—	—	—
(%)			2021年度	0.2%以内	0.21%	95.0%
			2022年度	0.2%以内	0.20%	100.0%
			2023年度	0.2%以内	0.16%	120.0%

※中長期目標は、基準年実績に対し  
【2021年度は-8% 2022年度は-9% 2023年度は-10%とする。】

※省エネルギーは、電力使用量・燃料使用量（自動車燃料・ガス使用量・LPG使用量）が含まれています。  
※生産量100本単位での環境活動結果

# 主要な環境経営活動の中長期目標

○2024年度

	主な環境活動	2023年度	年度	全社		
		評価		目標	実績	目標達成率
エネルギー使用量 (MJ)	○不要な照明はこまめに切る。	○	基準年	—	44,568	—
	○照明機器の間引き。	△	2024年度	39,665		
	○エアコンの温度設定(夏季28℃/冬季20℃)を守る。	○	2025年度	39,665		
	○クールビズの実施。	○	2026年度	39,665		
	○アイドリングSTOP活動。	○				
	○エコドライブ・安全運転講習の受講。	△				
水使用量 (m <sup>3</sup> )	○節水の啓発活動の継続活動。	○	基準年	—	16.8	—
	○漏水の定期検査・パトロールの実施。	△	2024年度	15.1		
	○減圧調整の実施	△	2025年度	15.1		
			2026年度	15.1		
廃棄物処分量 (t)	○分別ごとの計量を実施する。	○	基準年	—	10.7	—
	○分別推進で廃棄物の資源化(有価物化)を促進する。	○	2024年度	9.5		
			2025年度	9.4		
			2026年度	9.3		
化学物質使用量 トルエン(t)	○溶剤に於けるトルエン含有量の見直しを行う。	○	基準年	—	5.1	—
	○溶剤使用量削減の工夫を行う。	○	2024年度	4.54		
			2025年度	4.49		
			2026年度	4.44		
紙使用量 (t)	○ペーパーレス会議の推進。	○	基準年	—	20.0	—
	○紙出力⇒データ化の推進。	○	2024年度	17.8		
	○コピー用紙の両面印刷の推進。	○	2025年度	17.6		
			2026年度	17.4		
不適合品発生率 (%)	○品質管理の取り組みにより不適合品発生を低減させる。	○	基準年	—	—	—
			2024年度	0.2%以内		
			2025年度	0.2%以内		
			2026年度	0.2%以内		

※中長期目標は、基準年実績に対し  
【2024年度は-11% 2025年度は-12% 2026年度は-13%とする。】  
エネルギー使用量・水使用量については維持目標とする。

※省エネルギーは、電力使用量・燃料使用量（自動車燃料・ガス使用量・LPG使用量）が含まれています。  
※生産量100本単位での環境活動結果

# 環境関連法規制等への違反・訴訟の有無

関連法規制	適用される事項	本社	サテライト	大阪	岡山	東京	遵守評価
グリーン購入法	できる限り環境物品等を選択するように努める。	✓	✓	✓	✓	✓	○
地球温暖化対策推進法	温室効果ガスの排出の抑制のための措置を講ずるよう努め、国や地方公共団体の施策に協力する。	✓	✓	✓	✓	✓	○
エネルギー使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律(省エネ法)	エネルギー使用状況の届け出、エネルギー管理統括者選任届出、エネルギー管理企画推進者選任 届出、中長期計画書提出、定期報告書提出。	✓	✓	✓	✓	✓	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	委託契約の締結。マニフェストの交付と5年間の保存義務。保管場所に掲示板の設置。	✓	✓	✓	✓	✓	○
特定工場に於ける公害防止組織の整備に関する法律	特定の業種のうち特定の施設を設置している工場(特定工場)を設置している事業者・特定事業者として、公害防止統括者の選任/届出・公害防止管理者の選任/届出	✓	✓	✓	-	✓	○
騒音規制法	規制基準の厳守	✓	-	✓	-	✓	○
振動規制法	特定施設の設置、変更の事前届け出	-	-	✓	-	-	○
土壌汚染対策法	有害物質使用特定施設の使用が廃止された時や土壌汚染により健康被害が生ずるおそれがあると都道府県知事が等が認めたときには土地所有者等は調査・報告する義務。	✓	✓	✓	-	✓	○
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)	化学物質管理指針に留意することなど。	✓	✓	✓	-	✓	○
消防法	防火管理者の選任及び届出。危険物貯蔵施設、取り扱い施設の届け出。	✓	✓	✓	-	-	○
毒物劇物取締法	業務上取扱者劇物の保管及び管理	✓	✓	✓	-	✓	○
労働安全衛生法	有機溶剤中毒予防規則・特定化学物質障害予防規則の順守	✓	✓	✓	-	✓	○
特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	小売業者の引き取り義務	✓	✓	✓	✓	✓	○
NOx・PM法	NOx・PM排出基準の順守	-	-	✓	-	-	○
下水道法	排出基準の厳守	✓	-	✓	-	✓	○
大阪府化学物質管理制度	管理化学物質の把握・届け出(H23年度～)	-	-	✓	-	-	○
水質汚濁防止法	排水基準の順守・特定施設の設置の届出・許可・申請等	-	✓	✓	-	✓	○
浄化槽法	設置の届出・保守点検、定期検査の実施	-	✓	-	-	-	○
小型家電リサイクル法	パソコン・携帯電話・デジタルカメラ等使用済み小型家電の再利用促進	✓	✓	✓	✓	✓	○
フロン排出抑制法	全ての第一種特定製品は簡易点検(3ヶ月に1回以上)圧縮機の定格出力が7.5kw以上の機器には定期点検(1年に1回以上)を実施。記録を保管する。	✓	✓	✓	✓	✓	○

環境関連法規制等への違反はありません。環境関連法規制等の遵守状況について定期的に評価し、その結果下記を除き問題はありませんでした。

【本社】2023.12.22月一回の下水道検査時に全クロムの項目が排水基準を上回る数字が出たため下水道局に報告を行った。(基準2mg/Lのところ15mg/Lであった)  
⇒高松市による2回の検査を行ったが、2回とも未検出であったため、一時的な放流であると判断できた。以後要請がなかったため、対応は終了している。

【サテライトヒル】2024.3.6第三工場(印刷工場)建築時に生活排水の排出経路の変更と雨水排出口の増設が行われており、水質汚濁防止法の特定施設に直接係る部分ではないが、は特定施設の変更届が必要であるため、変更届けを提出するよう指導を受けた。⇒2024.3.15に変更届を提出して受理されている。

# 次年度の取り組みについて

## 2024年度の取り組み

### 省エネルギー

【二酸化炭素排出量の削減】

#### 取り組み

- 空調温度の適正化（実室温：冷房28℃、暖房20℃）
- 不要照明の消灯率向上
- コンプレッサー定期自主点検・オイル交換点検（記録）
- 空気圧チェック（記録）

※省エネルギーは、電力使用量・燃料使用量（自動車燃料・ガス使用量・LPG使用量）が含まれています。

### 環境活動

#### 取り組み

- 社外清掃などに継続参加し、地域貢献に努める
- 5S活動の推進（整理・整頓）

### 廃棄物の分別の徹底と削減

#### 取り組み

- 裏紙利用の徹底
- 古紙リサイクル排出監視
- 資源ゴミの分別を徹底する
- マニフェストによる廃棄物適正処理

### 紙資源の節約

#### 取り組み

- プレビューチェックによる無駄な印刷の防止
  - Webセンターを活用し、青焼きの出校枚数を抑える
- ※お客様に理解を求める

### 水資源の節減

#### 取り組み

- 水道・井水配管からの漏水確認を定期的実施する
- 節水の啓発活動の継続活動
- 流量確認（バルブ）の点検を実施する

### 化学物質の管理の徹底と使用量削減

#### 取り組み

- 化学物質の管理（リスクアセスメント）を実施
- SDS（安全データシート）最新版管理
- 化学物質管理者・保護具着用管理責任者の選任・表記

### 不適合品発生率の低減

#### 取り組み

- 品質管理（NQS）の取り組みにより不適合品発生を低減させる
- 品質管理部と連携し、不良内容の集計と分析

### グリーン購入の推進

#### 取り組み

- 資材購入リストよりグリーン購入への切り替えを行う。
- 新規購入時、グリーン購入対象品を検討する。

ナベプロセス(株)東京支社 自家消費型太陽光発電設備



新棟側(北側屋根上)



立体倉庫側(南側屋根上)

パワーコンディショナー容量4.95kwを9台設置

49kw × 9台 = 44.55kw 最大出力

2024年3月19日より運用開始

2023年度も引き続き円安の影響と物価高の影響を受け、当社のような中小製造企業にとってはエネルギー、原材料の高騰に対する負担増が目下の重大課題となっている。必要最小限の価格改定のお願いは必要であるが、自助努力を優先した収益確保により持続可能な改善を進める。

項目	目標達成率(原単位)	項目	目標達成率(原単位)
1. 省エネルギー	76.4%	5. 紙使用量の削減	129.4%
2. 水資源の節減	90.7%	6. グリーン購入の推進	140.4%
3. 廃棄物の削減	130.2%	7. 不適合品発生率の低減	120.0%
4. 化学物質使用量の削減	117.2%		

「売り手」「買い手」「世間」の三方よしの精神に基づいたDX化を進め、アナログからデジタルへの置き換えにて生まれるパフォーマンスを最大限に活用してください。

※環境経営方針・実施体制については変更なし。

